# 佐保田の丘

奈良教育大学附属中学校通信第二号（通算二十一号）
二〇一二（平成二十四）年九月七日

## 秋霜と春風

学校長　松川利広

長月、九月、二学期が始まりました。この二学期の「二」（序数詞）には、「二」の前の「一」、「二」の後の「三」を想起させる力があります。古来、私たちは、モノ・コトの全体を三つに分けて捉える知恵を受け継いできました。例えば、「始め・中・終わり」「序論・本論・結論」「守・破・離」などがあります。これらの分節に従えば、二学期は、「中」「本論」「破」に当たる、中心的な位置として捉えることができます。つまり、二学期をどのように生きる（学ぶ）かによって、一年の質が決まるといっても過言ではないということです。一人一人、来る三学期を見据えて、日々の稽古と鍛錬を怠らないようにしなければなりません。東井義雄の言葉を借りれば、私たちは、だれもが、

自分は／自分の主人公／世界でただひとりの／自分をつくっていく／責任者

なのです。時々、背筋を伸ばし、凛とした眼差しで、自省する時間を持ちたいものです。まさに、「秋霜をもって自らを粛（つつしむ）」姿勢が求められているのです。しかし、「秋霜」に対して「春風をもって人に接する」ことの大切さも忘れてはなりません。そのために、例えば、金子みすゞの詩の世界を体現してみてはどうでしょうか。

「遊ぼう」っていうと／「遊ぼう」っていう。／「ばか」っていうと／「ばか」っていう。／「もう遊ばない」っていうと／「遊ばない」っていう。／そうして、あとで／さみしくなって、／「ごめんね」っていうと／「ごめんね」っていう。／こだまでしょうか、／いいえ、だれでも。

多くの人は、この詩と出会うと、「いいえ、だれでも」のところで立ち止まり、「だれでも」の後につづく言葉を思案します。そうして、しばらく想いを巡らしていると「いいえ、（こだまではありません）だれでも、（こだまのような人になれるのです。）（こだまのような人になってください。）」という、みすゞの静かなメッセージが聞こえてくるような気がします。

「こだま」になれる人は、悔しい思いをしている人には「悔しいね」、「疲れた」と言う人には「疲れたの」と文末に「ね」や「の」の言葉を添えて、相手の立場に寄り添うことができます。これを共感的理解といいます。「春風をもって人に接する」とは、他者の思いや考えに対して、共感的に理解し行動することに他なりません。

二学期は、日々の学習や行事を通して、心と身体を鍛える場面が多くあります。その際、自分には「秋霜（責任者）」の厳しさで、他者には「春風（こだま）」の温かさで、臨んでほしいと思います。あの抜けるような、青い秋の空に向かって、堂々と伸びていこうではありませんか。

## 公州大附設中との交流が始まりました！

昨年交流協定を結んだ韓国公州大学校附設中学校との交流が本格的にスタートしました。

六月からは、中央委員会と訪韓生徒、有志らで組織された実行委員会を中心に韓国語や英会話、日韓関係史、公州の地誌や歴史などの事前学習を行いました。

八月六日夕刻、生徒七名と教員三名が公州から来日、来寧され、同夜には長友学長先生をはじめとする大学関係者や附中教員・生徒らによる歓迎会がありました。翌七日には奈良県庁への表敬訪問で杉田副知事と懇談の後、附中で生徒間の様々な交流が行われました。お昼には保護者の方々が用意してくださったご馳走をみんなで食べ、流しそうめんを体験してもらいました。午後からは学校の案内や部活体験の後、みんなで一緒に人文字を作りました。その夜はそれぞれペアの家庭にホームステイ、翌日はそれぞれ奈良や日本文化を体験してもらい、九日朝には大阪に向け離寧されました。

替わって十七日からは附中から生徒七名、教員三名が韓国公州を訪問しました。到着が夕刻になったにもかかわらず全校生徒と先生方が私たちの到着を待って歓迎交流の会をしてくださいました。翌日は相互訪問した生徒と教員皆で公州市内の史跡を見学。公山城（コムサンソン）では、錦江（クムガン）を眺望する楼閣で、互いに歌を交換したり写真を取り合ったりしました。そこには言葉の壁や国どうしの隔たりを楽々と越えていく、子どもたちの柔軟でたくましい行動力と心がありました。

それぞれのホームステイ先ではオモニやアボジの心からのおもてなしを受け、温かい気持ちで帰国の途につきました。

なお、交流の様子は今月末の文化の集いでも報告をする予定でおります。

## お知らせ

各府県の高校入試日程の関係で未確定となっておりました、**本年度の卒業式は、三月八日（金）に実施**することとなりました。各位ご予定くださいますようお願い申し上げます。

## 親子清掃 ありがとうございました！

夏休み終わりの恒例となりました親子清掃が、先月末の25日（土）、二百名を超える保護者・生徒・教職員の参加をもって行われました。

厳しい暑さのなかでしたが、通学路や校庭の整備、網戸の清掃など、二学期から気持ちよく学校生活を始められるように、と大変熱心に取り組んでいただきました。誠にありがとうございました。

## 二学期スタート

## 二学期のおもな行事

【9月】
3日　第二学期始業式・芸術鑑賞会
4日　身体測定
5日　四週間教育実習（～10/2）
7日　（特）市ブロック交流会
三年学力診断テスト①
13日　学級読書会
14日　三年生大学研究室訪問
15日　土曜全校PTA（授業参観・高校説明会・学級PTA）
18日　振替休日
27日～28日　文化のつどい・育桜会バザー

【10月】
3日　通常学級入試公示・願書交付
4日　（特）宿泊学習（～5日）
5日　三年学力診断テスト②
育桜会評議員会（午前）
9日　後期時間割開始
学校保健委員会講演会
11日　中間テスト（～12日）
後期生徒会役員選挙告示
13日　後期生徒会意見発表会・投票
17日　育桜会文化体育部社会見学
18日　オープンスクール（振替休29日）
30日　後期生徒会認証式・総会

【11月】
1日　三年学力診断テスト③
研究会準備（午後）
2日　教育研究会
5日　三年生PTA（進路説明）
6日　（特）入級選考（～7日）
8日　三年生と幼稚園との交流
10日　リーダー研修会
12日　三年個人懇談（～15日）
15日　一・二年PTA・育桜会講演会
16日　社会見学
18日　（特）日曜参観・PTA
20日　（特）耐寒駆け足（～12/3）
26日　三年期末テスト（～28日）
28日　一・二年期末テスト（～30日）

【12月】
4日　（特）マラソン大会
5日　育桜会評議員会（午前）
7日　平和の集い（予定）
12日　三年球技会
13日　人権学習（予定）
18日　期末個人懇談（～20日）
＊18日のみ午後
21日　終業式・大掃除
映画を観る会（図書部）